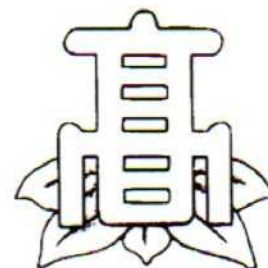




WOODVALE
SECONDARY COLLEGE

基本合意書

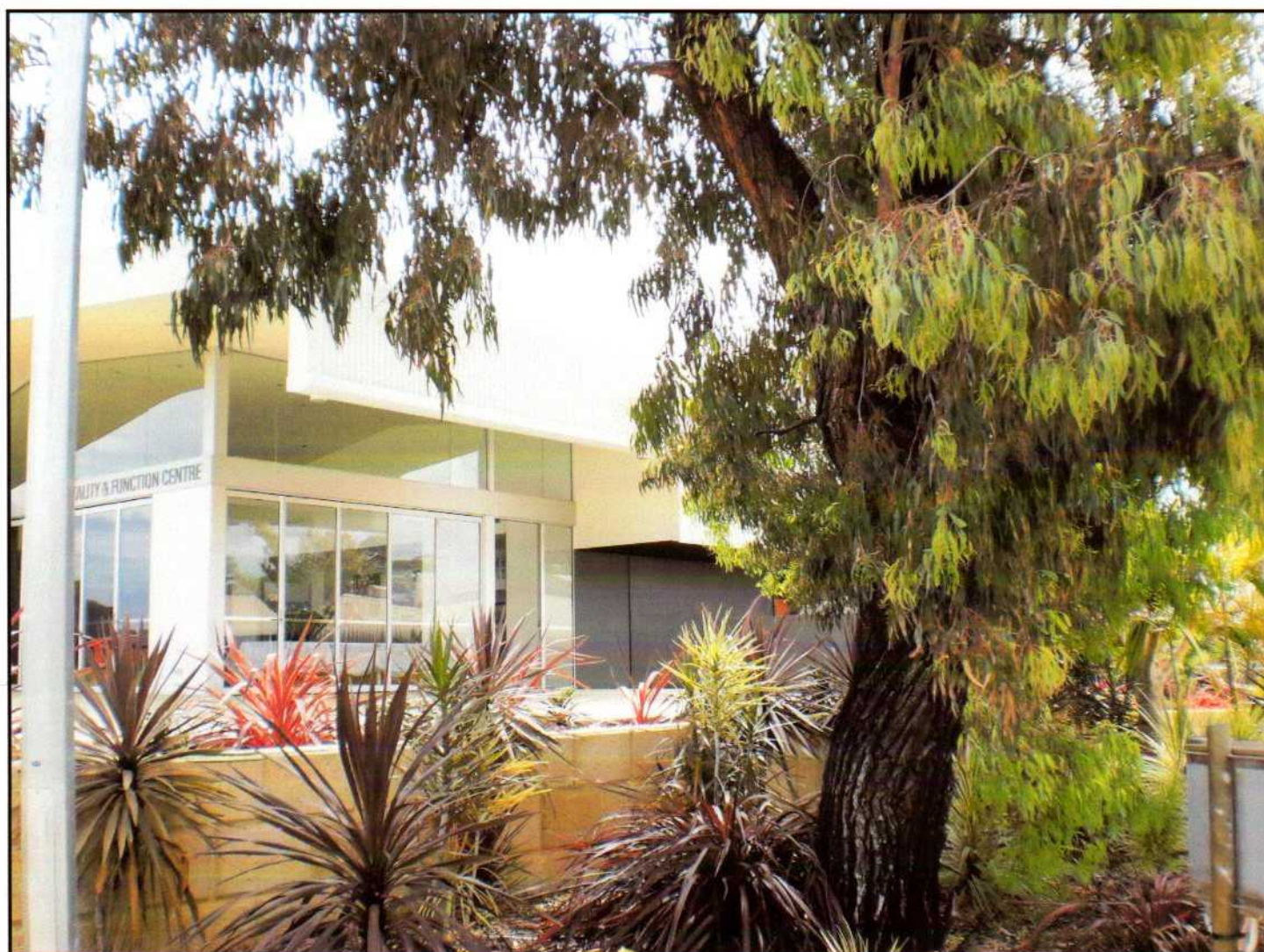


between

網干高等学校

and

ウッドベール高等学校





網干高等学校とウッドベール高等学校との基本合意書



網干高等学校とウッドベール高等学校は以下の事項に合意し、両校の生徒及び教員間において姉妹校関係を継続することとする。

合意書の主旨

交流をオープンにし、協議事項や優先事項を明確にすることにより、それぞれの学校で姉妹校提携の教育的必要性を確認し、有効性を認め合うものとする。

姉妹校提携は両校の信頼と尊重に基づき、進めていくものとする。

事業の目的

両校の関係を強化し、生徒間や教員間において相互理解を深め、網干高等学校とウッドベール高等学校のスクール・コミュニティ（学校共同体）を拡充する。

異文化理解を深め、お互いの文化を尊重し合う。

生徒および教員が、日豪関係を促進するスキルを高める機会を提供する。

西オーストラリアにおける日本語教育、日本における英語教育の支援を行い、それぞれの学校で外国語教育を推進していく。

定期的な交流を通じて、両校の友好の絆を強める。

協定内容

1. 交流の時期

- 1.1 特別な事情がある場合や、派遣生徒数が不十分である場合を除き、次回の交流は2015年とし、その後、交流事業は2年に1度の割合で行うものとする。
- 1.2 網干高等学校がパースを訪れるのは7月とする。
- 1.3 ウッドベール高等学校が日本を訪れるのは9月、10月または1月とする。

2. 派遣生徒数

- 2.1 両校の派遣生徒数は同数であることが望ましい。
- 2.2 上記が不可能であれば、派遣生徒数は16名～24名であることが望ましい。

3. 交流計画

- 3.1 両校間で調整を図る。
- 3.2 ウッドベール高等学校の網干でのホームステイ期間は1週間（7泊）までとする。

- 3.3 網干高等学校のパスでのホームステイ期間は2週間までとする。
- 3.4 交流事業において学校ベースの活動に関するものは、受入校が準備する。例えば、芸術やスポーツ、小学校訪問、調理の授業、語学の授業、格技、茶道などの文化的な活動を含む。
- 3.5 歓迎式は受入校が行う。
- 3.6 送別会は受入校が行う。
- 3.7 引率教員に対する歓迎や送別の会食は受入校が受け持つ。
- 3.8 小旅行や旅行は受入校や旅行会社のアドバイスに基づき、訪問校が手配する。
- 3.9 代替教員の経費は最小限に抑える。

4. 食事の手配

- 4.1 生徒の食事はホストファミリーが準備する。
- 4.2 引率教員の食事は自分で手配する。

5. 引率教員の宿泊先

- 5.1 受入校や旅行会社のアドバイスに基づき、訪問校が手配する。
- 5.2 宿泊先と学校との間の移動は受入校が手配する。

6. 経費

- 6.1 両校間で派遣生徒数が異なる場合、または両校で当該年度の事業計画に同意している場合を除き、両校間での交流費の受け渡しはないものとする。

契約期間

この協定は両校それぞれの校長がサインし、日付を記入した時点で効力を発する。この協定は上記諸規約を達成することを目的としている。不測の事態が発生しないかぎり、この協定は有効である。



ウッドベール高等学校長



網干高等学校長

2013年11月7日